

交通渋滞の緩和や災害時の緊急輸送道路ネットワークの強化

— 国道118号袋田バイパス開通 —

【事業概要】

- ・ 事業箇所 : 大子町袋田～北田気
- ・ 計画延長 : 3.6 km
- ・ 幅員 : 13.0m (2車線)

【事業目的】

国道118号は、茨城県水戸市から福島県会津若松市を結ぶ広域的な幹線道路であり、地域の振興や交流・連携を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての役割を担う重要な路線です。

このうち大子町袋田から北田気までの区間は、観光シーズンの交通渋滞の緩和や災害時の緊急輸送道路ネットワークの強化等のため、**約3.6キロメートルのバイパス整備**を進めてきました。



整備前

- ・ 台風などの大雨時に冠水による通行止が発生
- ・ 行楽シーズンは、袋田の滝へ向かう車による渋滞が発生



令和5年12月2日

【国道118号袋田バイパス全線開通】



< 整備効果 >

- ・ 通過交通のうち約8割がバイパスを利用し観光地への**アクセスがスムーズに!!!**
- ・ 下津原橋東交差点～道の駅間の通過時間が「**約9分短縮**」
- ・ 冠水箇所を避けるルートが確保され**緊急輸送道路の機能強化**
- ・ 今後、行楽シーズンに発生していた**渋滞の緩和**が期待される



開通前後の通過交通量

